

話^わじやれ (29)

岐久 ようこ

いきなりです、ね

デヴィ夫人が2022年80才こえて

自身を嫌いだと言う方達に対して

「100才まで、元気で生きようと

思っています。全ての敵が死ぬ迄！」とは

会社の社長さんでもあるし

競う敵もいるでしょうが

戦略あり？

回想記では

栄光、無念、悔恨

それら三山越え

なお保つ美しさとお化粧

まあ、エベレスト登ってみたら

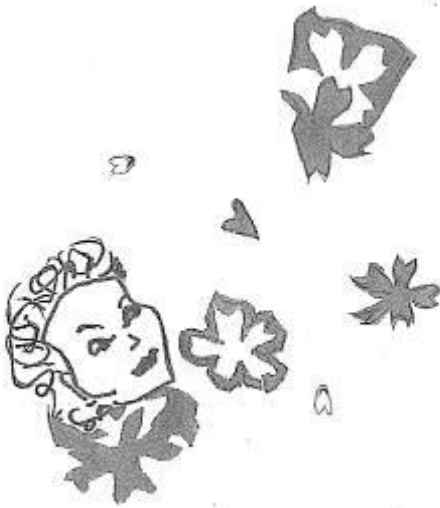
ゴミだらけってこともあり

大統領夫人って

めった登れない スゴイ！

でも今、日本女性かしら？

正直な お喋りあとに 白髪ふえ
鏡よ 白髪夫人でいい 残存させて



よされ よさんか

昼間は声楽に通い

夕べからギター抱え

いつまで流しを続けるか

お客が「よさんか」と

言うても前に出るよりしようない

「後ろに引かないぞ」

サブちゃんこと北島三郎

デビューは6年でやってきた

「風雪ながれ旅」は競作となって

彼の唄いつぷりがモテて

大ヒット飛ばす

紅白の出場は50回

そのうちそれを7度歌う

作詞の星野哲郎さんが病床にあつて

三味線の初代筑前さんの本を読み

「流しは殆ど盲目になつても」

門口に立ったに感嘆!

アイヤーアイヤー

北島節で歌ってくれ!



軒先で 犬が聞くが それでよし
10軒の うち9軒 食いそびれ

コスモス植えよう

16 隣保の周りで咲けば

香りとか匂い漂わせるかも
隣保長になって直ぐに

土手のフェンス際の

30センチほど除草しだす

真冬の2月

まず「除草剤」でと蒔いていたら

「隣保費で買われたの？」

「私、勝手にし始めたことで」

「それなら、いいですけど」

幾日たっても効果はなし

草は枯れず

毎日少しづつの草引きが続く

「アレ？」

この家を建てた折に植えた夾竹桃の
葉っぱが茶色に！

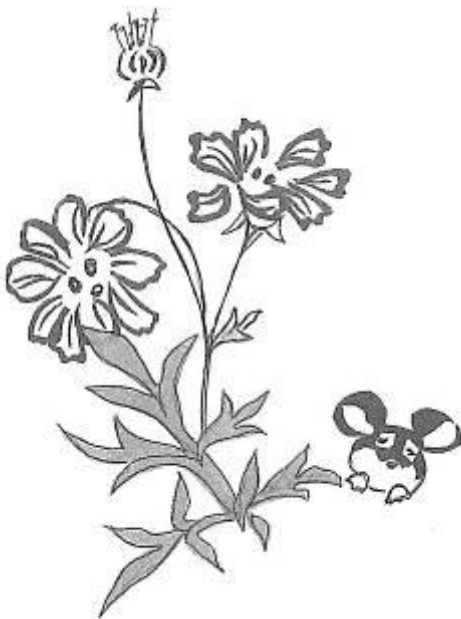
庭の花木に「除草剤まかれたな」

折角まかれたがパラッと

ふったんじゃダメだ

「もつと多めにまけよ」
ということか

暗闇に 夜の散歩 よその庭
散歩なら 除草剤より 犬なのに



いわたととき
岩谷時子ワールド

「本気かしら」

「恋の季節」

「逢いたくて逢いたくて」ほか
シャンソンを和訳した

作詞もいっぱい

コーちゃんこと

越路吹雪さんとの出会いからで

「ラストダンスは私に」

もう眠ってなどいられず

「夜明けの歌」

仕事ひとすじ？

マネのできない発想と着眼

宝塚が出版する「歌劇」の

編集長をなさった契機で*1

加山雄三さんには

「お嫁においで」書いて

そんなん違う

男役のコーちゃんの付き人で

ずっとずっと

「君といつまでも」いたかったナー
いいじゃないの 幸せならば 貫く



*1 1939年神戸女学院大学部英文科を卒業後
宝塚歌劇団出版部に就職